

2001年4月号

Enfanter ● No.267

あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む②(計画などを)考え出す③(作品などを)創り出す、の意

こころのカタチ

ねえおかあさん

こころには「カタチ」があるんだよ

「たのしい」とか「うれしい」

ってココロはね、「まんまるでボールみたい」

だからしげんとジャンプ、ジャンプ、しちやうんだね。

「おこりんぼ」になったときはね

「しかく」だよ。そんな気がするの。

そして、おかあさん、「すき」ってココロは

どんなカタチだとおもう?

「ハートのカタチ?」

あー、わたしもおもってたんだ!

わたしハートっていいカタチだとおもうんだ!

でもね、おかあさん

ハートのカタチって下のところがついているでしょ

だから、「すき」ってちよつといたんだね。くるしいんだね。

あとは「かなしい」ってココロなんだけど...

ハートがぜんぶとんがると「さんかく」になっちゃうの。

どこにあったつてもいたんだ...

ねえ、おかあさん

はね、おかあさんのことだいすきだよ。

おかあさんのおいのかいだとねむくなっちゃうよ。

詩・浮田

イラスト・後藤

(8才)

13. 4. 14

特集

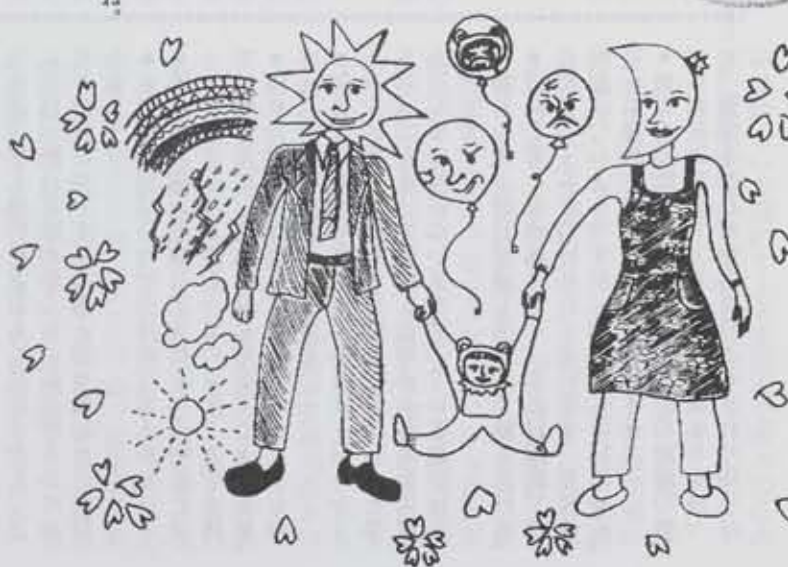
うちの子のクラスが学級崩壊!?

・あんふぁんてからあんふぁんてへ

・新入会員自己紹介

・情報コーナー

・やっぱり神戸が好き



p p p p
12 11 10 9 2

●「設問2」学校でおきていることを子どもなどから聞いた時、学校に対してどうしますか？ 学校が隠そうとしたらどうですか？

- もっと詳しく知りたいと思ったら連絡帳などで担任に聞いてみると思います。
- クラス内の親しいお母さんとその件について話しをしてみる。
- たったひとりででも授業参観に出掛けた。
- 危険な状態にある問題ならためらわず教育委員会などへ話しだけでも伝えてゆく。
- 複数の親達で学校側に説明してほしいと申し込む。
- 直接学校に電話した事がありますが、適当にあしらわれた感じがした。隠そうとしたら新聞に投稿するかな。
- 普段から先生方に自分の考えを伝える。批判だけでなく提案も書く、「ホットしました」と先生からいわれる。対立するのではなく一緒に子ども達を見守りたいと伝えれば、通じる人からは答えが来る。
- 夫が教諭だと言う事でできるだけガマンすると思う。
- 本当にそうなのか父親も同席し子どもに聞いてみます。そして子どもと一緒に学校へ。

●距離をもってヒトと付き合っているし、まして本音で話にくい。

●保護者会では個人的な事は一切言いません。親同士でコミュニケーションをとるのは我が子にとってマイナスと出る方がほとんどと思うからです。直接教師と面談しています。

●「設問3」自分の目から見ると明らかに苦しんでいるよその子がいたら、あなたならどんな風に手を差し伸べますか？

- 学校にちよくちよく行くようになって知り合いになった子がいた。その子は「乱暴もの」と皆に言われていた。実際にいろいろとはなしをするようになって、その子は寂しがりやで本当はみんなと一緒に遊びたいのに上手く振舞えないジレンマを感じ、出来る限り話しをきいてやり自分にはいろんな良いところがあることを気づくように持っていく。わずかな数ヶ月の間に態度が変わり子ども同士でも「やさしくなった」と言われるようになった。
- 「自分の存在を知ってほしい」と思っている」と言う事を心底感じた。それは身近な親が一番いいのだからけれど、ぜんぜん知らないおばちゃんにだって充分できることだと思う。
- まず苦しんでいる子どもの保護者について詳しくしておく必要があると思います。私の場合相手がやくざのひとだったのでひどくきずついたし担任および公立小ではだめだとおもいました。

●「設問4」今回のケースを読んで思ったことをなんでも書いて下さい。

茨城県古河市
我が家の長女は、小一の終わりから学校に行かなくなりました。その時、学校内の状況は喜多さんが書かれている状況に近いものがあつたようです。しかし、学校側は隠そうとしました。長女は「あんなにこわいところ二度と行きたくない。なぐられたり、けられたりしたこともある」と表現しました。教育委員会、県へも要望書という形で学校の対応について考えてほしいと訴えてみました。でも子どもは学校に行っていないので、私たち親子に対する学校側の態度が変わったという位しかわかりません。

保護者の方々は、学級懇談会で長女の言った言葉などを言ってみましたが、皆、その場では無視しました（先生もです）。皆、我が子がよければそれでいいのだというところを、その時しみじみ感じました。後で連絡をくれた方々は、「あの子がいるから」とか「担任がね」と、結局そのレベルの認識でした。先生も同じです。「私はその場にいません」「担任ではなかった」「よくあること」「ちょっとしたことだ」等言いました。こんな学校なら行かなくていい、とつくづく思いました。悲しいけれどこれが現実です。



特集

うちの子のクラスが学級崩壊!?

会員の喜多さんから自分の子どものクラスのこと、おたよりが来ました。そのことについてあんふぁんてみんなで考えてみよう、アンケートを実施しました。今回の特集は、そのアンケート結果です。回答してくれたのは、二十名。どの回答もみんなに読んでほしいほど熱がこもっていました。編集の都合上、全部載せられなくてごめんなさい。



「喜多さん（仮名）からのおたより・抜粋」

一年からのもちあがりの、小二のクラスのことだ。以前から落ち着きのない子、大声で担任に話しかける子、教室を出て行く子がいた。担任は「気長に見守ってください」を繰り返していた。が、この秋、校長が「もう今では手が出せないほどだ」と言った。担任はもうボロボロだった。

緊急保護者会が開かれた。「問題」とされる子と担任への批判で終始。私は思い切った「問題」とされている子の親に質問した。「家ではどんな話をしてますか？」すると、「怒っていますよ。殴っていますよ。毎日、毎日・・」そして「うちの子がよそへ行ってしまえばいいじゃないの？」と返してきた。驚いた。クラスに親密な親がないので、上手くコミュニケーションがとれないのだからか？どうしていいのかわからなかった。

翌日子どもが帰るなり「なんで大人は○君達がいなくなればいいなんて言うの？誰もそんな事思っていないよ。嫌だからいなくなつた方がいいなんて変だよ。もう、大人には何も話さない！」先の親が自分の解釈を伝えたりした。

その後、保護者が教室に入ることにになり、私も入った。子どもたちが「自分を受け止めてほしいんだ」と感じた。

●「設問1」保護者会で、保護者どうしや教師と、コミュニケーションをどうとっていますか？ 自分の考えをどう伝えていきますか？

- 人前で話すのが苦手な自分の思っている事を上手く表現できず、後で考えてしまう事が多い。
- 本当に解決を望む親たちと、単に「自分の子どもが被害を受けてるわけではないから本当はどうでも良いけどおもしろそうだし、どんな話が聞けるかわからないから」というのぞき趣味でやってくる親との見極めが必要だとも思う。
- まだ経験がないので具体的な答えがない。
- 連絡帳、個人面談などなるべく担任とコミュニケーションをとっています。まず全体で話すまえに、個別に話しておくことが必要。
- 周りの意見を収集しておく。それにより受け入れやすい内容に工夫する。
- 田舎で閉鎖的な地域性もありコミュニケーションのとり方は難しい問題です。思った事を言ってしまうと失敗した事がありそれ以来、余計な事を言わないよう黙っている事がほとんどです。
- 親しい人と意見交換し少しずつ輪を広げる。
- 自分の考えは連絡ノート、または電話で校長にクレームをつけたりしています。学校は問題はないようですが、期待もしていません。先生も優れているとは思っていません。
- 教え方の問題やいじめなどの対応の悪さを担任に改善してもらうため集まりを持って、要望をだしたがあまり改善された様子はない。

大阪府豊中市
学級があるというのには「いじめ」教師個人の力不足というより、社会システムの中での子どものストレス、希望や絶望、制度に対して意味のなさなど広く考えないといけないと思います。なおかつ個人的には、学区制で選択できない公立学校は能力のない教員を配置すべきでないと思います。税金で教師を雇い、しかもその選択ができないタックスペイヤーの権利をないがしろにするなど感じます。

奈良市
私は直接かかわっていませんが、四年生のクラスで学級崩壊があり、結局手のあいていない先生が一人はいて二人の先生で授業を行い、その担任の先生は四月に転任され、その後には問題はないようです。学級崩壊にしろ、いじめ問題にしろ、子どもがなにか問題をおこすのは家庭の中に原因があるのではないかと思います。そして問題をおこすのがわが子だった時、子どもばかりを責めるのではなく、親自身も子どもに接する自分自身を考へてみる必要があるのではないかと思います。また、教師もかたい頭ばかり持たず、プロである以上、もっと勉強していくべきだと思います。

福島市
人間関係はどむずかしいことではない。一番こわいのは言葉。わかってもらえない人には何を言ってもムダかも、というもあきらめてしまふ後ろむきの私です。イヤだけど。

豊島区
私だったら、学校がこんな様なら欠席させる。そして、校長に直接訴える。という行動をします。だって、いじめにしても一番不幸なのは、子ども達自身なのだから。それは我が子も他のご家庭の子も同じに不幸なのだから。

岡山県笠岡市
アンケートを見てびっくりしました。だって、我が娘のクラスと酷似しているのです。先日、授業参観での出来事です。大先生に話しかける子、落ち着きがなくきょろきょろしている子、無断で教室を出て行ってしまふ子。また、そういう子どもたちに対して、威厳を持ってしからない先生。（注意ぐらい）さらにびっくりしたのは、無断で教室を出て行ってしまふ子どもに対して、当の親は遠目から見ていてという有り様でした。教室を無断で出て行ってしまふ子を目の当たり見た私は、本当にびっくり。昭和四十年代後半に小学校生活を送った私としては、信じられない光景でした。しかし家に帰ってから、子どもに聞いてみると、「授業中そういう行動をとることはいけない」と言っているようですが、そういう行動を起こす子に拒絶を起しているわけではなく、いんすよね。悪く言えば、もう今はそういうクラス自体を、みんなが容認（受け入れて自然体）になってしまっているんじゃないかな。と痛感してしまつた次第です。まだ小学校一年生なので、授業に大きな支

障を生むようなこともないのかな。なんて変に納得をしようとしている自分がいる一方、本当にこんな状態でいいの。と危機感を持つ自分がいます。また、一年の終わりに対してこのような状態をはじめて知った自分に対して、もっと先生とコミュニケーションを取るべきではなかったか、と反省しています。

高知市
うちの子も同じ二年生だけど、担任の力だけでは、まともな成績も出ないと思う。だが、「教室から出てしまふ」とか「大声でしゃべる」なんていうことはだめだと、一年生の時にしっかりきまりとして身につけておくべき事だと思ふ。それを今まで放って置かれた子ども達こそかわいそうなのかもしれない。家庭で実際にどういう風にしたらいいのかわからなかったボタンをかけることが出来るのか。親に出来ることは何だろうか。「しかって、怒鳴って、たたいて」しか方法がないとしたら、これから子どもが高学年になって思春期を迎えて、親以上に力を付けてきて、それまでの親子関係が逆転してしまつたときの怖さを感じる。

匿名希望
狭く言えば自分の子を守りたい、大きく言えば子の環境を良くしたい。自分ができることは限られているように感じたりして、つらい。実績があるわけではなく、ので提案には説得力に欠けると思いますが、そこに関わる人たちが自分の事を話せる（一口をはさまずに最後まで聞いてくれる）場を開いてほしいか。というか。「しゃべりB Aワークショップ」にあるようなルールのもので。

盛岡市
これを読むと、子どもどうしは仲が悪くないようだ。ホームルームなどで、子どもたちに話し合いをさせる（クラスの問題とか、人の話をちゃんと聞くことの大変さとか）というのはどうだろうか。もうすでにやっているのだろうか。しかし、担任がこんなに不安定なら、なかなかおさまらないだろう。ここまでの事態になつたら保護者が教室に入るのもやむを得ないのかもしれないが、まず、学年、学校が連携をとって欲しいと思う。担任交代もひとつの方法だと思うが、どちらにしても子どもたちは落ち着かないし、もとの担任への不信感が残ってしまうだろう。



に、親は本当に向き合って話を聞いてやってるか、勝手に育つと考へて放つてはいないか、そのあたりもよく分からない。「だめな子」「悪い子」「問題児」などレッテルを貼ること、親も担任もその子どもを分かつたような気になつていないか。レッテルを貼ること、一括りにして、何も手を打たずに「その子どもが悪いんだから」と投げ捨ててしまふことになりやすい。自分のことでさえ自分でも分かつていないのに、相手が子どもだというだけで、レッテルを付けて分かつた様な顔をするのは傲慢だと思う。子どものせいにしてはいけないう。親の育て方、教師の指導の仕方、さかのぼっては幼稚園・保育園の教師の対応など様々なものが積み重なって起きていることなのだから。でも私は、最終的には親に全責任があると思う。

栃木県黒磯市
お勉強さえできれば先生になれる時代は終わっているんですね。今回のケースは、先生に大きな問題がありますよね。教育委員会に訴えて、それでダメならマスコミに訴えようと前進してはどうか。さあ、みんな悩んでらっしゃるうちに、一人で孤立するようなことは絶対避けたいよね。常日ごろの人間関係をフルに活用するのが一番いいのでは。



埼玉県伊奈町
何でも悪くとりたくなる心境もわかる。つかれてる...と思った。

松本市
うちの長男のクラスにも、参観日の時など（普段はどうなのか分かりませんが）わざと（多分）見当違いなことを言つて笑いをとって喜んでる子が何人かいました。息子自身も調子はずれなことを言つてこちらが赤面してしまふ場面もありましたが、担任の先生が子どもの扱い方が上手で、内容はどうにしろその子たちを指名して意見を言わせていました。一度話してしまつとすっきりするの、静かにするようになりまし。さんの話の中にもありましたが「自分を受けとめてくれている」と子どもが感じられれば、教師と児童の関係はうまくいくのだと感じました。話は変わりますが、保護者会というのは当事者のつるしあげという感じがして、もし自分が当事者の親だったら欠席してしまふと思います。親が集まって済むのでしょうか？それより子どもと担任が納得いくまで話をすることの方が大切な気がします。

埼玉県朝霞市
「どんな自分でも認めてほしい」。子どもに限らず大人も自分を認めてほしい、話を聞いて欲しいと思つていてほしい。昨日小学校で行われた学校保健委員会での保健婦さんの話にも「人は認められると頑張れる、良い方向へ向かう」というコメントがあった。



方が何人かいらしたのも希望でした。でも「最終的には親に全責任がある」というのは、プレッシャーを感じました。どの親も必死で子どもを育てているのに、まわりからいわれる「親はこうあるべき」とか「子育ては親の責任」などの抑圧の重さでつぶれそうになっているのではないかしら。失敗したら落後者になるから、失敗しちゃうにせよ、一生懸命上手くやっているように見せかけ、でも実はどうしているかわからなくなっていたり、自分に自信がもてなくなったり子どもに向き合えなかったり、「責任」を放棄したくなったり。

これは全て私のことでもあるのですが、そんな親がいっぱいいるように感じられるのです。それが子どもにも反映される。子どもは親や大人（身近な大人は先生）にこっぴどくを向いて欲しいからいろんな手段でメッセージを出してくる。でもそれに大人が応えてあげられなくて「学級崩壊」につながるのかもと漠然と感じています。

授業中に歩き回ったり出ていこうとする子ども達はある意味では、思ったように行動できるだけ自由なのかもしれません。だから外の子ども達も、「その子がいなくなればいいな」なんて思わない。その子が排除されるということは自分たちも思ったことをすると排除されるということだから。

これは「しつけを厳しく」とか「きまりを小さいうちから守らせる」とかいうことではないように思います。大人の圧倒的な力をもって、子ども達をイスに座らせたり黙らせたりすることはできても、それは子どもたちの感情を殺し、本当の声（要求）を閉じ込めていくだけのように思います。本当のしつけや決まりというのは、管理して守らせることによつて、問題を起ささないようにするものでなく（守らないと罰がある）、人と人が本心に相手を大事に尊重しあうためのものなのです。

「彼らは自分を受け止めて欲しいんだ」と思った。さんに、共感します。問題とされてる子の親に意見を求めたことも、勇気ある賢い行動だとも思います。その親が正直に、どうしたらいいかわからないんだというSOSをだせし、それから話が深まったのではないかしら。その親のSOSにこたえる手だてがあるといいですね。専門家（カウンセラーや育児相談員）の力を借りるのもいいし、親同士で、話を聞きあえる関係ができたのもいいです。親に手が届かなくても、その子に注目して受け止めることのできる大人が、喜多さんがもうすでにやろうとしているかもしれませんが、その子の周りに何人かいれば、



その子も変わってくるのではないのでしょうか。そういう意味で、周りの親達が授業に参加していているということも、賢いやりかただとも思います。監視するのでなく愛情をもって授業を見守っているといいですね。

私自身は、自分に自信をもって思うことを声に出し、相手を尊重して向き合い（たとえ意見が違っても耳を傾け）、子どもに愛情をもって近づける大人になろうと努力の最中です。そのためにやっているのは自分の話を聞いてもらうことです。注目して聞いてもらうことを積み重ねる中で、いっぱい泣いたり怒ったり感情を出しながら聞いてもらおうのです。自分にだんだん自信がついてきました。こんな私でも生きていいのねって。そして少しは娘のことを愛情をもって見守れるようになってきました。外の子が辛そうなきにも、聞いてあげられる大人になりたいな。

うちの子は一・二年生頃は本当に落ち着かず、トラブルを起こしてないか毎日心配していた。ある日、うちの息子が下敷きを投げた。幸い傷は切れもせず血もでなかったのだが、その子の親は激怒して、「もしも目に当たっていたら失明していたかもしれない、傷も後に残ったらどうしてくれるのか」とさぞさん責められ、ひたすら謝り落ち込んだ。日も暮れて学校で担任の先生に相談しようと思いついてみると、同じクラスのお母さんが声を掛けてきた。説明すると「よかったですね。目に当たらずに済んだ。本当に」と言ってくれた。私が、「うちの子が落ち着かず、迷惑を掛けただけじゃない。もしも〇〇君にも迷惑を掛けていたらごめんね」と言うと「お互い様よ」と言う返事が返ってきた。これがきっかけでこのお母さんとはいろいろと子どもの話をするようになり、お互いの子どもの悩みなどを話し合えるようになった。

今の子どもはトラブルはコミュニケーションさえあれば解決すると思う。親同士も子どもが初めて遊びに行ったお宅にはお礼の電話をいれたり、学校であった時に「いつも遊びに行かせてもらって有難うございます」の一言で、何となく相手のことがわかる。気の合う人を見つかる。子を持つ親同士悩みは同じで、自分ばかりが悩んでいる訳ではないのがわかるはず。子ども同士も会話で意志の疎通が図れないので、キレたりしてしまうのかな。気持ちを伝えるって難しいことだけれど、言葉や行動で相手に理解してもらうと言う事を、こども同士遊びの中で身体で覚えるしかないと思う。

結構子どもってシビアでタフで学校の中ではいろんな子どもを認めながら何とかやっていく。大人がもう少し、黙って見守ることができるといいのと思う。子どもは絶対に成長する。みんな、良い子に育ちたいと成長している。誰も悪い子になってやるとは思っていないと思う。みんな良い子になりたい。ほめられたい。そんな成長のエネルギーを信じてやりたいと思う。

それから「お互い様」って言葉をみんなが言えるといいのね。今は迷惑を掛けていたなくてもいつどこかで迷惑を掛けるやらという気持ちがあれば人を責めないのね。

みんなのアンケートを読んで

寄せられたアンケートを読んで一緒に考えたり、さんと直接会ったりメールや電話で、やりとりしてくれた人も何人かいました。

豊島区

この四月に一年生になる子をもつ親として、とても興味あるものでした。

最初、さんの体験文を読んで「二年生で学級崩壊？ だなんて、そんなばかな」という気持ちでいっぱいでした。そして一年もそれを親が気づかずにいたなんて……。

なぜ？ 子どもが病気が？ 先生の授業がつまらない？ それとも幼稚すぎる？ 親に責任がある

浦和市

アンケートの「一人参観日」「個人的に子どもと近づいていった体験」。前向きに、学校教育に向き合っている姿勢がすてきなと思います。希望が感じられました。問題を抱えているような子どもがいたら、声をかけるといいな。と感じました。

会費の納入がとつても遅くなつて本当に申し訳ありませんでした。ずっと気になつていたのですが、今年、幼稚園の役員をしたり、パネルシアターのサークルを始めたりしてはまつたりと、何だか日々スケジュールに追われていた為、会費もしばらく読むひまもなかったのです。会費をやめようか、とも思いましたが、来年、年少の学年になる三人目の長女に自主保育ではなく、二年OR一年保育を考えているので、あんふぁんてとのつながりは、大切だと思ひ、会費を続けさせていたいくことにしました。また、よろしくお願ひします。

あんふぁんてでは、都会の情報が多く、今いる群馬の方なども少ないようですが、少しずつでも皆様のパワーを見習えたら、と思います。今、私がしている活動は、児童館での親子サークルが三年目となり、色々な親と子に会いました。その出会いの中で、パネルシ

わたしの近況です

あんふぁんてから

あんふぁんてへ



群馬県太田市

今後の特集についてですが、最近、自分の子どもを虐待死させる親について、すごく考えさせられます。『密室育児からの脱出』や『ひとり子育てでしなないで』というメッセージで感動させてくれたあんふぁんてから、何か発信できないかな? と思つていますが、どうでしょう。

あんふぁんては、今も私の原点

大田区

始めて参加したとき、子どもは三歳と一歳でした。上の子は、今年大学院に、下の子は看護学校生でこの一月成人式でした。私のほうは友人と自然食品の店をやつては十年。毎日がバタバタ過ぎて行きます。あんふぁんての情報誌(会報)はザッと読むだけの会員ですが、今でも私の原点です。



*今回の特集は、多くの人の協力できていますが、編集作業は、喜多 川崎 新谷 伊藤 今井...が担当しました。

まさに私にとってはタイムリーな特集でした。色々な会員からの回答を読むたびに、考えさせられる事もありました。どのようにすれば、子ども達の心を汲み取ってやれるのか。私に出来る事はなんだろう? 今後の課題です。

また教師に対して「批判ばかりでなかったか」と省みる機会を与えてくれました。

(笠岡市)

私の上の子はまだ幼稚園年少組。学級崩壊って想像がつかなかったけれど、大人の声が届きにくい子どもがいることは確かなのだ。あと、この特集を通じて感じた。

担任交替もひとつの方策と書いたが、後任は、前の担任よりも厳しく、管理的な先生になる恐れがあると思う。それでは根本的な解決ではないだろう。いろいろな方が書いているが、子どもを押さえつければ解決するといふものではないと思つた。

(盛岡市)



自分の状況をあんふぁんての特集にしてみよう

喜多

その後、数ヶ月が経ちました。保護者が教室に入ったり躍起になって保護者を開いた結果が、二月現在の今、見えないうえに、何故か担任の表情が明るくなった様に思えるのは三年には持ちあがらないという安堵感からなのでしょうか? そこにはもう「情」すら見えない。

まあ、これが世の中の「現実」なのだろうな、と受け止めてしまっている自分がいます。こんな人間関係にストレスを感じる様になったのは何時からだろう?

あんふぁんてで特集にしたいので、この件を通じて見えてきた事があります。

まず、どうして、子どもの悪事は全て「母」のしつけ問題になってくるのだろうか。役割意識を幼い頃から押し付けられて育ったがゆえに全ての自分の責任と錯覚してしまう。そして自分の「常識」をそのまま子どもに押し付けて育つ。もちろん、子どもにも役割を押し付けている。気持ちを受けとめてもらつた事が無い親がはたして子どもの気持ちを受け止める事が出来るのだろうか? 誓めてもらつた事のない親が誓め方を知ってる?

我が子は「嫌だからいなくなればいいなんて誰も思わない」と言いました。その言葉はまさに今の世の中に対しての子どものメッセージではないのでしょうか?

「完璧でない人間しか要らない」と目には見えないメッセージを送っている大人達に「そ

れは間違いですよ」と言っている気がします。そして、大人にとって「都合の良い子」に「いつか自分が該当するかもしれない」と思う純真な心。不登校といわれる子にも関わってくる問題ではないのかな。

教師に対しても期待していたのが間違だったのかも...と思うようになりました。今の学校の制度は昔とちっとも変わっていないのに、考え方や環境、休みまでが変わり、そのしわ寄せが担任に全てかかってきているようにみえました。

答えを見つけたわけではないのですが、設問1、2、の回答で多く見られたのが「周りの親しいお母さん同士で話す」。やはり、学校のつながりが必要なのか...と感じました。もちろん「何事もひとりで!!」という意見もあり、ある意味、自分に無い強さと勇気をもたらした気がしました。

これから先、自分に出来る事を探してゆくと共にまず、自分が人を受け止める事が出来るように努力したいとおもっています。

人間関係が上手じゃない私ですが、今回のアンケートの回答やミーティング、編集などで、あんふぁんての本当の意味、本当の良さがわかりました。

みなさん、ありがとうございます。もうすぐ桜が咲いてピカピカの新学期です。



大田区あんふぁんて新年会

神奈川県伊勢原市

一月八日(祝)に、大田区あんふぁんての新年会がありました。今年は、札幌から原さん、北京大学在学中の井上さん、駐在から帰ってきた本田さん、胡子さんなど十二名が集まりました。フェミニストセラピーをしている松田さん曰く「このあんふぁんては、自助グループなのよ」と。それにしてももう二十年近くになる付き合い、懐かしい話よりも、これからどう生きていくか、という話になり大いに盛り上がりました。

◆今月号同封の『来期案アンケート2001』、これはあんふぁんての今後の活動の方向を決めるため年一回実施する、会員全員を対象としたアンケートです。

保険契約が毎年十月に更新されるのに合わせ、あんふぁんての一年は毎年十月に始まり、翌年九月が年度末。そのため、毎年この時期に会員の声を集め、八月末の会員交流会でそれをもとに話し合いをし、方向を決めてきました。

あんふぁんての会費は、単なる会報購読費ではありません。あんふぁんての人たちと、又はあんふぁんてをきっかけとして、新しい何かを始めるための活動費です。

「あんなイベントやったら面白いのに……」、「こんなことを考えてる人と仲間になりたい……」、「というあなた、それを実現させてみませんか？ やりたいことのある人は、まずはアンケートで「〇〇やりたい！」と手をあげましょう。

また、今は忙しくて動けないという人もいます。でも、会報を読んでくれる人、会員であり続けてくれる人が会を支えているのです。今は動けない……というあなた、自分の気持ちや興味のあることを教えてください。

特に今回は財政危機打開のため、設問11に「関する意見・意志表示をぜひお願い！」★アンケート回答〆切は四月末。

来期案アンケート

2001

— 財政危機を乗り越えるために —

情報コーナー

★雑誌「自然食通信」のバックナンバーをゆずってください

休刊となつてしまった「自然食通信」（自然食通信社）のバックナンバーを捜しています。どの巻でも結構です。もし、譲ってもいいよ！という方がおられましたら、ご連絡ください。よろしくお願いします。

★あんふぁんて「子育て広場トライアル」仲間と出会う親子ともども楽しく遊びたい、たまには子どもと離れてホッとしたい、日頃抱えている悩みをじっくり語り合いたい……そんな人たちがはじめの一歩を踏み出す場です。

4月23日（月）10時～2時（子連れの人は15分前までに集合）エポック10 保育室にて終わってから3時までは、タウンワークの報告と子どもに関する連絡・引継の時間になります。

費用：資料・保険代（大人一人500円）
保育料：子ども一人200円 保育カード・保険証・子どもの昼食・着替えが必要。申込締切4月13日。保育は7名になり次第締切。

Aコース：子どもと一緒に遊ぶ
Bコース：しやべりBAワークショップ
Cコース：タウンワーク

*子連れ参加の方はA・B・Cコースの順に参加できます。Bコースは大人のみの大歓迎。※申込はあんふぁんて事務局まで。

事務局から

●今月号には「来期案アンケート2001」
「コミュニケーションについてのアンケート」の他に、「グループアンケート」も同封されています。

●現在「あんふぁんてグループリスト」に掲載されているグループは、必ず「グループアンケート」に回答してください。特に、連絡窓口の交代や活動内容に変更がある所は、早めにお知らせください。

また、これからグループを始めようと思っている人、旧リストにはないけれど、新リストに掲載したいという人も、回答をお願いします。

●3月末の会員数は370名です。

スケジュールメモ

4月16日（月）ミーティング（エポック10）
4月23日（月）トライアル（エポック10）
5月7日（月）5月号送付作業（事務局）
5月14日（月）ミーティング（エポック10）
5月21日（月）ミーティング（事務局）
5月30日（水）トライアル（エポック10）
*ミーティング等は10時～2時、子連れ可。併当持参。参加希望者は事前に連絡ください。

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いがまだの人は、至急振込をお願いします。会費が切れても本人から連絡がないと、退会や休会の措置がとれません。休・退会、転居の時は、事務局まで連絡を。

新入会員自己紹介コーナー

☆入会半年から一年の会員にはがきアンケートでききました。

育児雑誌を読んであんふぁんてを知りました。同じ市内に住む方一人に手紙を出してみました。後日ていねいにお返事をもらいとても嬉しかったです。

取り上げたいテーマは、幼児教育について。何をどこまで教育するべきか。英語とか音楽とか……。他に取り上げたいテーマは、これからの人生について？ どう生活すればこの先イキイキと生きていけるか。

子どももやつと一歳半。昨今の頃は淋しくてコドクで何かあせって「あんふぁんて」を知って、入会したらTeeももらって手紙ももらって、すごく気が楽になりました。今思うのは、仕事の忙しいダンナより同じ親の友だちの方がたよりになる!! ということですね。

たんぼぼ子供の家に子どもを入れて知りました。

地域の会員リストで親どうしの親睦がは

かれました。

取り上げたいテーマは、環境や「子どもを育てるとは……」。自分の価値観を押し付けたリマニエアル通りに型にはめたがる母親が多いのにビックリです。

会報、毎号楽しく、すみまで読んでます。もうすぐ天使が我が家にやってきました（*）。今からワクワクドキドキ。初心にかえって「子育て」を楽しむ一年になりそうです。すばらしい新世紀の訪れとともに……。

（*）編集部註：畑中さんがこのアンケートハガキを書いてくれたのは、三人目のお子さん出産直前。「ただ今パンク寸前。二、三日中に三番目が生まれます。予定日を過ぎていますが、居心地がいいのか、まだ出てきません」との一文が添えられていました。

夫の姉が以前から会員でときどき会報を読ませてもらっていました。私が妊娠したとき、いろいろお産に関する記事、育児に関する記事等を読ませてもらいました。

他の会員とは、連絡をとってみようかな、と思いながら、まだとっていません。

取り上げたいテーマは「保育行政に関して思うこと」。私の息子は現在私立の乳児保育園へ行っていますが、年々保育園に対する行政の姿勢が厳しく冷たいものになってきています。保育への企業進出も問題ありだと思っています。皆さんのように感じているのでしょうか。

昨春秋に入会しました。パイオリンの演奏

と指導の仕事しながら二歳の男の子を育てています。最近、気力と体力がともなわず、ボロボロ・ガタガタになっていますが、「あんふぁんて」を自由な活動の場として、年末に娘と一緒に親子コンサートをさせていたできました。あんふぁんてのみなさんがこころよく手伝いして下さって、なごやかなひとときでした。

（*） さんのパイオリンコンサートについて、三月号に様子が掲載されています。併せて読んでね。

講演会であんふぁんてを紹介していて、それで入会しました。

さっそくイベントに参加して楽しかったです。子どもも喜んでいました。

取り上げたいテーマは、子育てに関して。子どもを預けることができない人（実家が遠方の人）のための施設利用についてとか、そういう人たちのために子どもを預ける所または何かないかというようなテーマです。

以前は、私自身少しイライラしていて、子どもも反抗期の大変なときでしたが、最近、親子ともども少し落ち着きました。しかし、まだ子どもは「ダメ」ということに対して言うことをきいてくれなくて困っています。





やっぱり神戸が好き 最終回

【前回までの話】震災後の神戸を離れ夫の実家・奈良へ。姑や子どもの担任は、罹災した「かわいそうな」人とは思ってくれるが、私たちの気持ちとはズレがあった…。

神戸市

二月の半ば、実家から取りあえず、大事な物だけ取り出す事になりました。が、母は、大阪で診察してもらった所、やはり何本か骨折しており、思うように動けず、父にも危険な事はさせられないので、私と弟、従兄で行う事にしました。それ以前にも実家や両親の様子を見に行く私に、奈良の母は、「奥田、奥田って、あなたは奥田の人間じゃないんだからね。長田の人間なんだからね。長田の人間だつて事、忘れないでちょうだい」と言い、この時も「また、神戸…」という感じでした。「私の家に来て下さい」と全国からホームステイの呼びかけがある一方、この非常時さえ「家」にこだわり続ける母にたまらない気持ちになりました。もう一緒にはいられない、日々その気持ちが強くなってきました。子どもたちの様子も、相変わらずでした。夫に相談しようとしても、母に「幸一郎は、疲れているのに、そんなややこしい事いいなさんな」と話もさせてもらえず、夫もこれ幸いと逃げてばかり。気持ちの持って行き場がなく、子どもと三人黙って過ごす日が続きしました。

すると「学校行けないの麻里ちゃんだけじゃないよ。〇〇ちゃんも、毎日行かないって泣いて、神戸に帰るって言ってるよ」との話にホッとしました。その後も何度か電話を下さり、亡くなった子どもたちとお別れ会があるので一度学校にこないかと誘って下さいました。またあの恐怖を思い出すのでは、と迷いましたが、本人が行きたいと言うので、思い切って出掛けました。

小学校に着くと、すぐ担任の先生が娘を抱きしめ「麻里ちゃん、元気だったのね」。戸惑っている娘に「何も話さなくていいよ。笑わなくていいよ。先生は、麻里ちゃんがここにこうして無事に、元気でいてくれるだけで、うれしいから」と言ってくれました。その言葉に「そうなんだ。私たちは、かわいそうじゃない。今、ここにこうしている事だけで十分なんだ」と納得できました。どんな人であれ、どんな状況であれ、その人が存在している、その事自体が何よりも大切だという事に、この時初めて気づいたのです。

その後、豊中（大阪府）に引越し、娘はそこから一年生終了まで神戸の小学校に通いました。

地震で傷ついた私たちの心を、傷ついた神戸の町や人々が救ってくれました。神戸に感謝しつつ「また戻ってくるから」と心の中でつぶやきながら、一九九五年四月、実家の後片付けも終わり、新しい一歩を踏み出しました。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

！《新事務局の地図》

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分（なるべく少額切手）を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分（三千円）以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第267号（毎月1回5日発行）
2001年4月5日発行
（1975年7月26日初刊発行）

あんふぁんて 4月号

発行人 /
発行所 / あんふぁんて出版部

電話
（☎平日12時～2時それ以外FAX）
定価 / 500円
振替口座 /
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。